

村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第3報 畳内に生息するダニ類の季節的消長. 第34回日本アレルギー学会総会, 1984, 10, 京都.

12) Kamimura, K., Takasu, T., Ahmed, Altaf, and Ahmed, Akhter: A survey of mosquitos in Karachi area. 22nd Annual Symposium and B. M. S. I. Silver Jubilee, Jinnah Postgraduate Medical Center, Pakistan, 1984, 12, Karachi.

#### ◆ その他

1) 上村 清: 越チュウねずみ十話 1—10. 北日本新聞家庭欄 1月21, 22, 31日, 2月2, 3, 4, 5, 7, 9, 11日号, 1984.

2) 上村 清, 渡辺 護, 荒川 良: コガタイエカの殺虫剤抵抗性の季節変動と地域差. 衛生動物 **35**: 176, 1984.

3) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫: 畳内に発生するダニ類の季節的消長と畳の材質との関係について. 衛生動物 **35**: 180, 1984.

4) 上村 清: カラチ地方の蚊について. 衛生動物 **35**: 212, 1984.

5) 吉村裕之, 赤尾信明, 北川正信, 上村 清, 吉村 平: 肺糸状虫症の2症例の追加. 寄生虫誌 **33** (増): 29, 1984.

6) 上村 清: 油断大敵 日本脳炎と蚊. 富山新聞健康欄 7月21日号, および 切抜き速報 健康教育版 (149): 20—21, 1984.

7) 上村 清, 渡辺 護: 殺虫剤抵抗性コガタイエカの発見. 日脳ウイルス生態研誌 **16**: 2—3, 1984.

8) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と日本脳炎存在との関係. 日脳ウイルス生態研誌 **16**: 10, 1984.

9) 五十嵐隆夫, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊, 荒川 良, 上村 清: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第2報 ダニ採取方法の比較検討. アレルギー **33**: 645, 1984.

10) 荒川 良, 上村 清, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第3報 畳内に生息するダニ類の季節的消長. アレルギー **33**: 646, 1984.

## 細菌学・免疫学

教授 小西健一  
助教授 山岸高由  
講師 坂本憲市  
助手 林君枝  
助手 黒木嘉人  
文部技官 井上裕美子

#### ◆ 原 著

1) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウエルシュ菌の意義. 科研費特別研究「環境科学」研究広報, **28**: 212—213, 1984.

2) Konishi, K., Yamagishi, T., Sakamoto, K., Hayashi, K. and Kubo, Y.: Significance of *Clostridium perfringens* as a pollution-indicator of water. Special Research project of Environmental Science, **30**: 89, 1984.

3) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 山岸高由, 小西健一: 臨床材料から分離されたインフルエンザ菌の生化学型別と血清型別について. 衛生検査, **33**: 1150—1153, 1984.

4) 小西健一: 陸水生物の水質指標性と汚染除去能に関する研究. 日産科学振興財団報告書, **10**: 75—78, 1984.

#### ◆ 学会報告

1) 坂本憲市, 山岸高由, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍性に関する研究. その1—基礎的検討—. 第57回日本細菌学会総会, 1984, 7, 札幌.

2) 山岸高由, 久保義博, 坂本憲市, 林君枝, 小市裕子, 河合幸一郎, 小西健一: 水中の *Clostridium perfringens* とその汚染指標への応用. 第57回日本細菌学会総会, 1984, 7, 札幌.

3) Yamagishi, T., Gyobu, Y., Sakamoto, K., Koshimura, S. and Konishi, K.: Enterotoxin production and pathogenicity of *Clostridium perfringens*. China-Japan International Congress of Microbiology, Shanghai Symposium-1984, 1984, 8, Shanghai.

4) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: バイテックAMSによる細菌検査成績の検討. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

5) 橋場礼子, 神保知子, 増山淳子, 藤塚昌子,

矢野靖二, 山岸高由: 富山市医師会健康管理センター細菌室で検出された下痢原因菌と推定される分離菌について. 第21回中部臨床衛生検査学会, 1984, 9, 富山.

6) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: 臨床材料から分離された肺炎球菌の同定について. 第31回日本臨床病理学会総会, 1984, 9, 金沢.

7) 坂本憲市, 山岸高由, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 (第2報) in vitro-in vivo 系による検討. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

8) 山岸高由, 久保義博, 林 君枝, 坂本憲市, 水田龍信, 小西健一: 水由来ウエルシュ菌のエンテロトキシン産生性と芽胞形成性について. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

#### ◆ その他

1) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林 君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウエルシュ菌の意義. 科研費特別研究「環境科学」研究広報, 29: 135, 1984.

## ウ イ ル ス 学

教 授	庭 山	清八郎
助 授	落 合	宏 子
助 手	林	京 子
助 手	笠 木	徳 三 夫
文部技官	中 川	明 夫

#### ◆ 原 著

1) 芝田充男, 浅野礼子, 上村 桂, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: 一元放射補体結合 (SRCF) 試験を用いたインフルエンザワクチン効果の判定. 臨床とウイルス 12: 182~186, 1984.

2) 金沢 裕, 庭山清八郎: オウム病—とくに感染源と化学療法について. 感染症 14: 29~36, 1984.

3) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子: インフルエンザウイルスのNS蛋白について. 乳酸菌研究会に関する報告書: 262~264, 1984.

4) Ochiai H., Niwayama S., Shibata M.: Studies on the Correlation between Neutralizing (NT) and Hemagglutination Inhibition (HI) antibody Titers and Age Distribution of HI Antibody to Parainfluenza Viruses. Acta Medica et

Biologica 32: 83~89, 1984.

#### ◆ 総 説

1) 庭山清八郎: かぜ症候群ウイルスの種類と性質. 「薬局」, 35, 7~17, 南山堂, 1984.

#### ◆ 学会報告

1) 金沢 裕, 徐慶一郎, 庭山清八郎: オウム病の臨床経験 (続報) —とくにX線像を含む臨床所見について—. 第58回日本感染症学会総会, 1984, 4, 東京.

2) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 松井寿夫, 八島省吾, 落合 宏: Dunn 骨肉腫細胞の分化誘導に関する基礎的研究 (第1報). 第57回日整会, 1984, 6, 札幌.

3) 芝田充男, 落合 宏, 庭山清八郎, 佐藤征也, 元田昭策, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄: 1984年分離インフルエンザA (H<sub>1</sub>N<sub>1</sub>) 型ウイルスの抗原分析. 第32回日本ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

4) 芝田充男, 佐藤征也, 元田昭策, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: インフルエンザワクチンの予防効果. 第32回ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

5) 佐藤征也, 元田昭策, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: インフルエンザウイルスの増殖におけるレクチンの影響. 第32回日本ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

6) 齊藤光和, 真保 俊, 小田切治世, 加藤 博, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 落合 宏, 中川明夫, 庭山清八郎: 培養ヒト食道癌細胞の増殖におよぼすレクチンの影響について. 第2回ヒト細胞研究会, 1984, 8, 東京.

7) Motoda S., Sato S., Shibata M., Ochiai H., Niwayama S. and Iwase I.: Passive Hemagglutination Test for Detecting Rubella virus Antibody. The 6th International Congress of Virology, 1984, 9, Sendai.

8) Sato S., Motoda S., Shibata M., Ochiai H., Niwayama S., Iwase I. and Jo K.: Evaluation of SRCF Test in the Diagnosis of Influenza Infection. The 6th International Congress of Virology, 1984, 9, Sendai.

9) 落合 宏, 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎, 芝田充男: A型インフルエンザワクチン効果の実際. 第6回北陸ウイルス病研究会, 1984, 10, 金沢.

10) 齊藤光和, 真保 俊, 唐木芳昭, 藤巻雅夫, 落合 宏, 中川明夫, 庭山清八郎: 培養ヒト食道癌細胞の増殖におよぼすレクチンおよびインフルエンザウイルス HA の影響について. 第21回日本細菌学